

## 学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい  
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる  
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <p>・個々にあった指導を行い、教師のやる気も向上している。 ・子ども一人ひとりの実態や課題を全教職員でしっかり把握しながら、個別の指導計画や教育支援計画に基づいた学力向上、体力作りなどの指導や支援に取り組んでいる。</p>	3.7
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>・修学旅行・宿泊学習・遠足など、学部や子供の実態に応じて実施されている。 ・社会的自立に向け、共同学習・体験学習・キャリア教育を充実させ、心の教育につなげている。 ・教職員の意識も高まり、子ども達の自己実現の姿も見られる。</p>	4
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>・充実した施設・環境で地域のセンター的役割を担いながら、昔遊び体験や保護者向け福祉講演会、その他の講習会や学習会を通し、保護者や地域との連携がより深まり学校の活性化につながっている。 ・地域との交流などを通じて、あまようの子供たちの姿をより多くの人たちに知ってもらい理解を深めている。</p>	3.7
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>・新しい環境にも慣れ、これから再点検し、より安全な教育環境を作っていってほしい。教職員の意欲の高まりがみられる。 ・登下校バスも含め、校内の健康指導、インシデントアクシデント報告の活用により、安全に学校生活を送れるように、全教職員の防災意識の向上に努めている。</p>	3.7
<p>■教育目標</p> <p>教育目標に沿って、全教職員が共通理解し、子どもたち一人ひとりと向き合いながら教育活動に取り組んでいる。</p>	3.7
<p>■研究テーマ</p> <p>公開授業・専門性向上のための研究や研修により、子どもたちの学力向上、安全教育や食育、心の教育に生かすことができている。</p>	3.7
<p>■センター的機能の充実</p> <p>・充実した施設・環境で、地域のセンター的役割を適切に行っている。今後も、特別支援教育だけでなく、地域・本市の中心として子どもたちのために力を発揮してくれることを期待する。</p>	3.7
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B